



JR 荻窪駅北口駅前広場修景整備設計

株式会社グラック 劔田和良・西山秀俊・井野貴文

□ 計画の経緯

対象地である JR 荻窪駅前広場周辺は、商業・業務・文化などが集積し「にぎわいの核」となる場所である。しかしながら駅前広場が狭小な空間であり、交通結節点機能が不足し、街の顔としてふさわしい駅前景観となっていない等の問題を抱えていた。これらの問題の解決に向け、東京都による駅前広場の基盤整備とともに、杉並区が駅前広場の修景に関わる整備を行った。

□ 計画の特徴

計画では、荻窪のまちの統一イメージを築き、まち

の顔としての修景を行うことが求められた。そして区民が愛着と誇りを持てる駅前広場とするため、荻窪が音楽を中心とした文化的な魅力を発信する地区であることを活かし、計画地を「区民の期待と想いに応える重奏空間」と位置づけた。そして、駅前広場に整備する多様な施設機能を調和させることを目指した。

デザインにおいては五線譜に例えた5つの空間要素でランドスケープを展開した。

□ 設計内容

・スカイスケープ：シェルター

駅前空間のランドマークとしてシンプルかつ空を感



駅前広場機能として新たに創出され、フレキシブルな利用を考慮した多目的広場

作品概要

作品名：JR 荻窪駅北口駅前広場修景整備設計
 所在地：杉並区上荻1丁目143-1
 発注：杉並区 都市整備部 まちづくり整備課
 設計：株式会社グラク
 施工：中江建設工業株式会社
 設計期間：平成21年10月～平成22年3月
 施工期間：平成22年10月～平成23年3月
 規模：約3,000 m²
 主要施設：歩道：シェルター、透水性平板ブロック
 舗装、ベンチ小広場：デッキ、ベンチ、スクリーン、
 ブランター
 植栽(高木)：ケヤキ、ヨウコウ、クスノキ、カツラ、
 コブシ
 (中低木)：オギ、イヌマキ、ツツジ、ハイビヤクシ
 ン、コグマザサ

作品評

この作品は、駅前広場の整備であり、道路管理者・交通事業者・警察等の関係者との調整はもとより、特に「荻窪らしさ」を演出するため市民意見を取り入れたコンセプトを作り出し、半年という短期間の中で、全体調整を取りまとめた整備したものである。

ランドスケープを形作る五つの要素を五線譜に例え、「荻窪シンフォニー」という重奏空間の創出により「荻窪らしさ」を表現するというコンセプトは解りやすく、説明資料も明快であった。実際に供用後すぐに野外音楽祭が開催されるなど、市民の評価も高い。

また、限られた空間の中で、多くの関係者の利害を調整し、必要とされる機能を満足させつつ、まちのエントランスとしてふさわしい景観を生み出した点が評価された。

じるような軽やかな形態のシェルターを歩道空間に展開した。

- ・フロアスケープ：舗装

荻窪のイメージに相応しい上質感のある素材感や色調・パターンフロアスケープを展開した。

- ・フレキシブルスケープ：小広場

滞留空間として、待ち合わせや電車を眺めるなどの日常的な利用や、イベント時の拠点としての様々な利

用ができる求心性のある広場を展開した。

- ・グリーンスケープ：みどり

荻窪の風景に調和する樹木の導入により、ドライで雑然とした駅前立地の空間に潤いを与え、統一感のある街並みを形成した。

- ・ナイトスケープ：夜景

帰路につく人々をやさしく迎えるための安心感のある「あかり」の景を演出した。



ランドマークとなる駅入口の大屋根シェルターとケヤキ



五線譜をモチーフとして取り入れた舗装パターン



明るく軽やかな形態のシェルター



鉄道との「見る・見られる」の関係性を考慮した広場



夜の景として、賑わいを感じさせ安心感を与えるやさしい光の回廊